

# 化学と環境

担当教員： 堤 行彦

履修年次・区分： 1～3年（共通—教養—環境と生活—選択）

授業のテーマ： 有機化学や無機化学に関する基本の講義を行う。また、環境と関連内容を中心に浅く広く理解を求め、今後の各専門分野にスムーズに進めること、社会に出た時のための最低限必要な知識の到達レベルを目標とする。

この日の授業内容： 環境関連の化学



環境ホルモンとも呼ばれる「内分泌攪乱物質」やダイオキシンが生物に及ぼす影響などについて、化学に強くない学生にも分かりやすいよう丁寧にお話してくださっています。化学は難解なものではなく、暮らしと密接に関わるものなのです。



堤先生のご専門は「水」。全国各地の色んな水をコレクションしてらっしゃいます。

(2013年11月取材)